

POST-TRUTH 時代の情報教育

奥村晴彦

2016 年は Brexit (英国の EU 離脱), トランプ米大統領候補の勝利という二つの世界を驚かせるニュースの年であった。Oxford Dictionaries はこれらの背後にある時代の流れを表す言葉として “post-truth” (脱真実) を 2016 年の Word of the Year に選んだ。

脱工業化社会 post-industrial society では、情報化によって真実があまねく行き渡ると思われたが、post-truth の時代になると、情報が増え過ぎて真偽が見分けにくくなるにとどまらず、真偽はもはや大した問題ではなく、ウケる情報がシェアされる傾向が強くなる。

ここでは、日本にもこの傾向が押し寄せて来ていることを指摘し、このような時代における情報教育のありかたを論じる。